

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	仙台白百合女子大学
設置者名	学校法人白百合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
人間学部	子ども教育学科 (人間発達学科) 心理福祉学科 健康栄養学科 グローバル・スタ ディーズ学科		16 単位	—	—	16 単位	13 単位	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページに記載: https://sendai-shirayuri.ac.jp/swu/wp-content/uploads/2022/10/220801experience.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	仙台白百合女子大学
設置者名	学校法人白百合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園のホームページに公表 http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/staff1_202506.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2015.7.24- 2025.7.23	法務
非常勤	社会福祉法人役員	2020.1.1- 2027 年度定 時評議員会 終結時	医療福祉従事者の視 点からの助言
(備考) 弁護士については、2020. 7. 24 に再任されている。 社会福祉法人役員については、2025. 1. 1 に再任されている。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	仙台白百合女子大学
設置者名	学校法人白百合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 科目担当教員へ「授業の目的」「到達目標とディプロマポリシーとの関連」「授業の概要」「授業の受け方・勉強の仕方」「受講に当たってのルール」「授業計画と予習・復習の内容、及び必要な時間」「評価方法(テスト・レポート・課題等へのフィードバック方法を含む)」「参考図書・文献」「履修上の注意」等を明記するよう依頼し、ホームページの公開及び授業での配付を行っている。なお、作成スケジュールは下記の通りである。 <作成過程> ① 2月中旬、教務課より教員にシラバス作成依頼の案内 ② 3月下旬、シラバス提出締切 <公表> 4月初旬公開	
授業計画書の公表方法	本学ホームページ上で公表： https://sendai-shirayuri.ac.jp/syllabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学修成果の把握は、進級指導システムを設けている。各学年で定められた修得単位数または GPA に満たない学生に対し、学科長、アドバイザー等による個別面談にて進級指導を行っている。また、GPA 制度を導入しており、ホームページ記載の「履修方法及び単位認定等に関する規程」第 21 条において、 ・成績評価は学期末に行われる、ただし、2 学期以上にまたがる科目については、その科目が完了した時点で行われる。 ・成績は、各授業の到達目標に基づいて、100 点を満点とした素点で評価される。ただし、欠席過多や課題未提出、試験未受験などのため素点による評価が不能である場合には、素点ではなく F の評価をつけることができる。 ・素点に基づき、評価の区分、およびグレードポイント (GP) を次のように定める。 <table><tr><th>評価</th><th>GP</th><th>素点</th><th>評価基準</th></tr><tr><td>「S」</td><td>4</td><td>90 点以上</td><td>到達目標に対して極めて優れた達成度である。</td></tr><tr><td>「A」</td><td>3</td><td>80 点～ 89 点</td><td>到達目標に対して優れた達成度である。</td></tr><tr><td>「B」</td><td>2</td><td>70 点～ 79 点</td><td>到達目標に対して十分に満たしている。</td></tr><tr><td>「C」</td><td>1</td><td>60 点～ 69 点</td><td>到達目標に対して、必要最低限の達成度である。</td></tr><tr><td>「D」</td><td>0</td><td>60 点未満</td><td>到達目標を満たしていない。</td></tr><tr><td>「F」</td><td>0</td><td>評価不能。</td><td></td></tr></table> ・前項で定めた GP に基づき、その平均値を求めたものを GPA とし、その学生の総合的な成績評価として用いている。				評価	GP	素点	評価基準	「S」	4	90 点以上	到達目標に対して極めて優れた達成度である。	「A」	3	80 点～ 89 点	到達目標に対して優れた達成度である。	「B」	2	70 点～ 79 点	到達目標に対して十分に満たしている。	「C」	1	60 点～ 69 点	到達目標に対して、必要最低限の達成度である。	「D」	0	60 点未満	到達目標を満たしていない。	「F」	0	評価不能。	
評価	GP	素点	評価基準																												
「S」	4	90 点以上	到達目標に対して極めて優れた達成度である。																												
「A」	3	80 点～ 89 点	到達目標に対して優れた達成度である。																												
「B」	2	70 点～ 79 点	到達目標に対して十分に満たしている。																												
「C」	1	60 点～ 69 点	到達目標に対して、必要最低限の達成度である。																												
「D」	0	60 点未満	到達目標を満たしていない。																												
「F」	0	評価不能。																													
3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各科目の評価は Grade Point (GP) に変換され、単位数によって重みづけられた平均値である GPA (Grade Point Average) の算出に用いられる。 GPA 算出式 $GPA = \frac{(GP \times \text{単位数}) \text{ の合計}}{\text{単位数の合計}} \quad (\text{小数点以下第 3 位を四捨五入})$ GPA の種類 (1) 通算 GPA 入学年度から当該年度・学期までの GPA (2) 年度 GPA 当該年度の GPA (3) 学期 GPA 当該学期の GPA なお、科目の性質上、GPA の算出にふさわしくない一部の科目については、GPA の算出から除外される。 上記算出に基づき、進級指導システムにおいて規定単位以下または GPA2.00 未満の学生は、学年末に個別面談による進級指導が各学科により実施される。 また、前年度の GPA に基づき 2 年から 4 年生の成績優秀者へ学業成績優秀者奨励金を給付している。																															
客観的な指標の算出方法の公表方法		本学ホームページ上で公表： sendai-shirayuri.ac.jp/swu/wp-content/uploads/2022/09/unit_recognition_rule_2022.pdf																													
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。																															

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定・学位授与の方針として次の5つを定めている。

- ◆DP1<建学の精神の理解>イエス・キリストによる福音と、その福音的価値観に基づく「人間の尊厳」について理解する。現代社会の諸問題をキリスト教の精神に照らして総合的に理解し、その解決に向けて具体的行動を起こすことができる。
 - ◆DP2<普遍的知識と教養>人間や社会、自然、環境に関する幅広い教養、自国と異文化への理解、女性が自律的に生きるための素地を身につけている。
 - ◆DP3<汎用的知識と技術>社会人・職業人にとって必要な言語力、コミュニケーション・スキル、情報を扱う技術、キャリア形成に資する知識を身につけている。
 - ◆DP4<態度・志向性>多様な人々と対話し、協働し、社会に貢献するために自分自身で考え、積極的に行動することができる。
 - ◆DP5<総合的な学習経験と創造的思考力>獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた課題を掘り下げ、調査、研究して課題を解決することができる。
- なお、卒業認定は、卒業判定教授会の議を経て学長が行う。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

本学ホームページ上で公表：https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/faculty_policy/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	仙台白百合女子大学
設置者名	学校法人白百合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/bs_r06.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/financial_r06.pdf
財産目録	http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/inventory_r06.pdf
事業報告書	http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/project_r06.pdf
監事による監査報告(書)	http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/audit_r06.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://sendai-shirayuri.ac.jp/juaa/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人間学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページによる公表） https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/
（概要） 人間学部は、キリストの教えに根ざした人間への愛と敬意を基に、幅広い教養と深い専門的知識、豊かな感性と社会感覚を身につけ、人間の真の幸福・平和・福祉に貢献できる自立した女性を育てることを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページによる公表） https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/faculty_policy/
（概要） ＜建学の精神の理解＞イエス・キリストによる福音と、その福音的価値観に基づく「人間の尊厳」について理解する。現代社会の諸問題をキリスト教の精神に照らして総合的に理解し、その解決に向けて具体的な行動を起こすことができる。 ＜普遍的知識と教養＞人間や社会、自然、環境に関する幅広い教養、自国と異文化への理解、女性が自律的に生きるための素地を身につけている。 ＜汎用的知識と技術＞社会人・職業人にとって必要な言語力、コミュニケーション・スキル、情報を扱う技術、キャリア形成に資する知識を身につけている。 ＜態度・志向性＞多様な人々と対話し、協働し、社会に貢献するために自分自身で考え、積極的に行動することができる。 ＜総合的な学習経験と創造的思考力＞獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた課題を掘り下げ、調査、研究して課題を解決することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページによる公表） https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/faculty_policy/
（概要） 学科の枠を超えて学部共通科目を設置する。この学部共通科目には、建学の精神に関する科目、基礎教育科目、教養共通科目、グローバル化に関する科目、キャリア科目を置く。この科目群の中に、本学の初年次教育の主要な科目を配置し、キリスト教学や基礎教育科目としての基礎ゼミ、日本語表現、情報科目等を必修とする。 学生の主体的な学修を進めるために、履修順序、内容レベル、時間割編成に配慮し、少人数のクラス編成及びきめ細かな授業の展開・方法を図る。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページによる公表） https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/faculty_policy/
（概要） 本学の建学の理念と教育目的を理解し、人間や社会に対して深い興味・関心を持ち、勉学への強い意欲と探究心のある学生、加えて、自己表現力やコミュニケーション能力を高めるために、また、自分の夢や希望を叶えるために、積極的に行動し物事に向かっていくチャレンジングな学生を求めます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://sendai-shirayuri.ac.jp/guide/issue_corner/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
人間学部	－	24 人	11 人	7 人	1 人	0 人	43 人
	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		117 人					117 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：本学ホームページに掲載： https://sendai-shirayuri.ac.jp/guide/teachers_list/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間学部	275 人	126 人	46%	1140 人	590 人	52%	15 人	8 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	275 人	126 人	46%	1140 人	590 人	52%	15 人	8 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間学部	209 人 (100%)	2 人 (1.0%)	193 人 (92.3%)	14 人 (6.7%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

合計	209 人 (100%)	2 人 (1.0%)	193 人 (92.3%)	14 人 (6.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 宮城教育大学大学院教育学研究科専門職学位課程(教職大学院)、岩手銀行、エイチ・アイ・エス、ANA成田エアポートサービス、菓匠三全、鐘崎、カメイ、北日本銀行、ギンビス、サンリオ、JALスカイ仙台、サンコー食品、ジェイ・エス・エス、JALスカイ仙台、大東建託、第一生命保険、東洋ワーク、東武トップツアーズ、東北労働金庫、日本旅行東北、日本郵便、明治フレッシュネットワーク、星野リゾート、宮城県社会福祉協議会、宮城明泉学園、仙台市社会事業協会、上尾中央医科グループ協議会、IMSグループ、国立病院機構、将道会総合南東北病院、東北医療福祉事業協同組合、仙台ひと・まち交流財団、仙台市、柴田郡村田町、白石市役所、防衛省、宮城県教育委員会、神奈川県川崎市教育委員会				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
学生は履修科目登録日までに、学年始めのガイダンスやシラバスを参考にして授業に出席しつつ、履修する授業科目を決める。 本学の授業科目の履修は「大学設置基準」(文部科学省)に定められた単位制に基づいて行われる。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間学部	子ども教育(人間 発達)学科	124 単位	有 無	48 単位
	心理福祉学科	124 単位	有 無	48 単位
	健康栄養学科	124 単位	有 無	48 単位

	グローバル・スタ ディーズ学科	124 単位	有 無	48 単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法： https://sendai-shirayuri.ac.jp/info/bursary.html 「学業成績奨励金」		
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://sendai-shirayuri.ac.jp/campuslife/map/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
人間学部 (1 年)	子ども教育学科 心理福祉学科 グローバル・ス タディーズ学科	740,000 円	240,000 円	240,000 円	維持費 冷暖房費
	健康栄養学科	740,000 円	240,000 円	250,000 円	施設設備費 維持費 冷暖房費
人間学部 (2～4 年)	子ども教育学科 人間発達学科 心理福祉学科 グローバル・ス タディーズ学科	740,000 円	0 円	370,000 円	施設設備費 維持費 冷暖房費
	健康栄養学科	740,000 円	0 円	390,000 円	施設設備費 維持費 冷暖房費
人間学部(1～4 年)		0 円	0 円	30,000 円	休学中の在籍料 半期

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 各学科における授業の補いや、様々な勉強会の開催を支援している。4 月及び 9 月にカリキュラムや講義に対する不安要素を減らすべく履修相談を実施している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 大学生活では、将来を見据えて目標を持ち、人生設計すなわちキャリアデザインを形成することが大切である。キャリアリソース課では、2 年生の後期から各種ガイダンスを実施し就職活動の早期化にも対応している。また、学科担当制による専任スタッフやキャリアカウンセラーが、学生の進路や就職・就職活動における疑問や不安などの相談に随時対応している。 仙台白百合女子大学の学生として、また、卒業後の社会人として必要な基礎力や人間力が身に付けられるよう、主体性をもって取り組める企画を増やし一人ひとりの夢や希望を大切にしながら、学生のキャリアデザイン構築を支援している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

心身の健康保持・増進については、「ウェルネスセンター」を設置し各部門にて担当の教職員が対応している。保健部門では、有資格の専任職員が校医とともに学生の健康に配慮し、毎年学年始めに健康診断を実施している。学生相談部門では、臨床心理士等の専任教員と非常勤のカウンセラーが個別相談や情報提供を行っている。特別支援部門では、専任教職員による協議会を設置して障害のある学生の支援に関する必要性および対応方法等の検討を行い、修学環境の調整をしている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://sendai-shirayuri.ac.jp/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F104310100969
学校名（〇〇大学 等）	仙台白百合女子大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人白百合学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		90人（ 0）人	89人（ 0）人	96人（ 0）人
内 訳	第Ⅰ区分	39人	41人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	30人	24人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	18人	19人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0）人
合計（年間）				96人（ 0）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	-	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	-	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	-	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	15人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	0人	0人	0人
計	15人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

[illegible]

[illegible]

A horizontal number line with 15 tick marks. The first two are labeled '0', the next two are labeled '1/5', and the remaining ten are labeled '0'.